

ネイルサロンで使用するマニキュア等について

1. マニキュアについて

(1) 「新化粧品学 第2版」 南山堂 より

○ネイルエナメル其主要成分

皮膜形成成分	┌	皮膜形成剤	— ニトロセルロース
		樹脂	— アルキッド、アクリル、スルホンアミド樹脂等
		可塑剤	— クエン酸エステル、カンファー等
溶剤成分	┌	真溶剤	— 酢酸エチル、酢酸ブチル等
		助溶剤	— IPA、ブタノール等
着色成分	┌	色材	— 有機顔料、無機顔料、染料等
		パール剤	— 合成パール剤、天然魚鱗箔、アルミニウム末等
沈殿防止成分	——	ゲル化剤	— 有機変性粘土鉱物

○処方例

樹脂	ニトロセルロース (1/2 秒)	10.0%
	アルキッド樹脂	10.0
可塑剤	クエン酸アセチルトリブチル	5.0
溶剤	酢酸エチル	25.0
	酢酸ブチル	45.0
	エチルアルコール	5.0
粉体	顔料	適量
その他	沈殿防止剤	適量

(2) 財団法人日本中毒情報センター 中毒情報DB 抜粋

マニキュア液の成分はニトロセルロース（10～20%含有）と溶剤で、その溶剤にはトルエン（10～35%含有）、酢酸エチル（10～20%含有）、酢酸ブチル（0～40%含有）、アセトン、エタノールなどであり、その他に樹脂類や可塑剤（クエン酸エステル系、カンフルなど）を少量含む。

## 2. 除光液について

### (1) 「新化粧品学 第2版」 南山堂 より

#### エナメルリムーバー 処方例

溶剤	アセトン	66.0%
	酢酸エチル	20.0
	酢酸ブチル	5.0
油分	ラノリン誘導体	1.0
	精製水	8.0
その他	染料	適量
	香料	適量

### (2) 財団法人日本中毒情報センター 中毒情報DB 抜粋

マニキュア除光液の主成分は、アセトン（60～90%含有のものが多い）、酢酸エステル（0～60%含有）であり、その他の溶剤（0～20%含有）、香料・染料を適量含み、残りは水である。